

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名	建設局
----	-----

基本計画	柱	環境を未来に引き継ぐ
	大項目	世界に広がる市民環境力の発揮
	取組みの方針	環境情報の共有と発信

担当局 / 総務担当課名	建設局	総務課
連絡先	582 - 2252	

21年度計画

-1-(2)-

施策名	あらゆる主体による環境政策への参加の推進
-----	----------------------

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	環境情報を誰でも容易に入手できる体制を整備し、市民、NPO、企業、行政などが連携・協働し、知恵を持ち寄り、共に考え、行動するなど、あらゆる主体の環境政策への参加をより一層進めます。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	環境情報の共有と発信

施策の成果	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)		現状値		平成21年度	目標値	
	年度	平成21年度	計画	実績		年度	平成25年度
市民参加による農業体験教室の参加者数	年度	平成21年度	計画	実績	2,000 人	年度	平成25年度
	現状値	2319人	達成度	116.0 %	2,319 人	目標値	2000人
	年度		計画			年度	
	現状値		実績			目標値	
	達成度				%		
	年度		計画			年度	
長野緑地における市民が農作業を通して自然環境について体験学習する「農業体験教室」を行い、里山・里地としての農村景観の維持を図ります。平成25年度において参加者数2,000人を維持していることを目標として設定します。	年度		計画			年度	
	現状値		実績			目標値	
	達成度				%		
	年度		計画			年度	
	現状値		実績			目標値	
	達成度				%		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]		事業費	2,600 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
			うち一般財源	2,600 千円	1,635 千円		

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	A	「長野緑地を利用した農業体験教室」では、当初の計画を上回る参加者を得ています。このことは、里地・里山としての農村景観を維持することに市民が参加する機会の実現に貢献していると考えられます。
今後の局施策の方向性	今後も市民との協働により里地・里山としての農村景観の維持を図るために、「長野緑地を利用した農業体験教室」への参加者数を維持することに努めます。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

施策名 あらゆる主体による環境政策への参加の推進

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性		
	C時点[21年度:執行額]					21年度	21年度	
長野緑地を利用した農業体験教室			2,600 千円	1,635 千円	裁量的経費			ウ
事業費のうち一般財源			2,600 千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				

局施策全体のコスト	21年度	
	事業費	人件費(目安)
	2,600 千円	1,635 千円
施策全体の事業費のうち一般財源	2,600 千円	

局施策の
21年度評価

A

【局施策評価】
A: 大変良い状況にある
B: 概ね良い状況にある
C: 概ね良い状況とまでは言えない
D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 A: 事業の見直しを図ることが可能 I: 休止・廃止を検討 U: 現状のまま進めることが適当 E: 終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	建設局	公園管理課
連絡先		

基本計画	柱	環境を未来に引き継ぐ
	大項目	世界に広がる市民環境力の発揮
	取組みの方針	環境情報の共有と発信
	主要施策	あらゆる主体による環境政策への参加の推進

関連計画	
事業期間	H15～
経費区分	裁量的経費

-1-(2)-

事業名	長野緑地を利用した農業体験教室		
事業の概要	何(誰)をどのよう状態にしたいのか。	長野緑地ではその計画テーマとして「自然と人を育む、体験交流公園」を目指している。当事業では平成15年度に完成した「学習用田圃」の効率的な管理運営として、また、計画地の買収済区域等の暫定的利用の一手法として、市民が農作業を通して自然環境について体験学習する「農業体験教室」を行う。それにより公園計画地を有効活用するとともに、里山・里地としての農村景観の維持を図る。	
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	あらゆる主体による環境政策への参加の推進
		成果	市民参加による農業体験教室の参加者数

目的実現の為に実施する内容 【手段】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由			
		現状	「農業体験教室」の実施参加者数 2,000人	「農業体験教室」の実施参加者数 2,000人	「農業体験教室」の実施参加者数 2,000人	「農業体験教室」の実施参加者数 2,000人	「農業体験教室」の実施参加者数 2,000人		「農業体験教室」の実施参加者数 2,000人		
	実施状況	成果・活動指標（上段：指標名、下段：指標設定の考え方）						平成21年度	目標		
		市民参加による農業体験教室の参加者数						計画	2,000 人	年度	平成25年度
		長野緑地における市民が農作業を通して自然環境について体験学習する「農業体験教室」を行い、里山・里地としての農村景観の維持を図ります。						実績	2,319 人	内容	2,000人
								達成度	116.0 %		
						計画		年度			
						実績		内容			
						達成度	%				
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度: 執行額]						事業費	2,600 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)		
							うち一般財源	2,600 千円	1,635 千円		
単年度計画											

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	平成21年度は、田植え・稲刈り、野菜の手入れ・収穫等一般市民向けのイベントを73回行い、延2,319人の参加がありました。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4: 高い 3: やや高い 2: やや低い 1: 低い	3	「市民参加による農業体験教室」の実施により、里地・里山としての農村の景観維持に貢献しています。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。		3	「NPO法人 長野美し村計画実行委員会」の主な構成員は、地元の農業従事者であり、自宅からの長野緑地までの距離が近いことや農業用耕作機械等の調達等の面で効率的であると考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。		4	「市民参加による農業体験教室」は、様々な実施体験を通し、人を育てる事業であり、継続して事業を進めることに意味があります。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか。市の関与をなくすることはできないのか。		4	長野緑地ではその計画テーマとして「自然と人を育む、体験交流公園」を目指しています。そのテーマを実現するためには、市の関与は不可欠です。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ		長野緑地ではその計画テーマとして「自然と人を育む、体験交流公園」を目指しており、平成15年度に完成した「学習用田圃」の効率的な管理運営として「市民参加による農業体験教室」の実施しています。里山・里地としての農村景観の維持を図るために、現状のまま進めることが適当であると考えます。